

# NO! リニア

No. 1 2 7

2021年8月14日

J R 東海労働組合

J R 東海労HP  
にアクセス↓



## J R 東海は住民の要望に真摯に答えるべきだ!

### リニア沿線住民の皆さんが要望書を突きつける!

8月11日、飯田リニアを考える会が飯田市長宛てに「リニア計画に関して要望書」を提出しました。12日には、虻川の安全を願う会が国交大臣、長野県知事、豊丘村長に宛て「虻川上流リニア残土置き場計画の安全再確認要望書」を提出しました。両要望書に共通していることは、リニア建設工事で発生する残土処理に関する不安が語られていることです。

飯田リニアを考える会は、災害地形で盛り土直下に人家がある残土置き場について、再検討を地権者とJ R 東海に求めています。その上で「J R 東海に、リニア工事計画の全体の見通しについて、中止の可能性も含め、速やかに明確にすること求めること」としています。虻川の安全を願う会は、虻川上流の残土置き場について、「残土量130万立方メートル+26万立方メートル、盛り土高さ50mの規模の計画はどんな対策を講じるとしても無謀で受け入れがたい」としています。要望書は直接には自治体と国に宛てたものですが、内容はJ R 東海が沿線住民の方々に真摯に説明し理解を得る必要があるものです。

金子社長は静岡県内のトンネル工事について「(大井川) 流域の利水者の理解なければ難しい」と考えを明らかにしていますが、どこのどんな工事でも同様です。沿線住民の皆さんはリニア中央新幹線工事、そして開業後の生活に不安を解消できないでいるのです。沿線住民の生活、自然環境、J R 東海の経営=社員への影響・・・、真摯にそして納得できる説明を行うべきです。

飯田リニアを考える会は「リニア経過が頓挫した時に振り返って見たとき・・・そのほとんどすべてが無駄の積み重ねだったと言わなくてはならない可能性がある」と指摘しています。

要望書の詳細は、「リニア新幹線沿線住民ネットワーク」のHPを参照して下さい。  
<https://linearstop.wixsite.com/mysite>